

## 平成30年度 教育活動の具体

自主自律を培い、自立心を育む	確かな学力を保障する	安全・安心・安定で、信頼を結ぶ
<p><b>1 生徒自らの試行錯誤と自己決定を大切にし、自主自律の経験知を充実させる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな課題に対して、学級会等で話し合う場を設け、自分たちで課題を解決するようにさせる。</li> <li>・定期テスト前、学習計画を立てる際に、目標とその目標を達成するための具体的な取り組みについての目標を分けて考えさせる。</li> </ul>	<p><b>1 学ぶ目的・意義の指導を工夫し、学習意欲の向上を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のゴールの姿を明示し、生徒の興味関心を喚起するように身近な問題を取り上げる等課題設定の工夫を図る。</li> <li>・自己評価や次時へのつながり等学ぶ意欲が高まるように、振り返りの場を設定する。</li> </ul>	<p><b>1 生徒・保護者・地域目線を重視し、チーム支援で安全・安心・安定を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の安全のため、地域のハザードマップを作成する。</li> <li>・青少年育成推進委員や民生児童委員らと連絡を取り合い、生徒・地域に関する情報を共有する。</li> <li>・心のアンケートを毎月実施し、心配な生徒には担任だけでなくチームで対応する。</li> </ul>
<p><b>2 生徒により良い生き方を探究する態度が育まれるよう、道徳教育の充実を図る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が、これまでの人生の中で出会った葛藤場面や苦しかった経験などを紹介し、生徒にも考えさせる。</li> <li>・スキルトレーニング等課題解決的な学習を取り入れる。</li> </ul>	<p><b>2 教員自らが活用力を向上させ、生徒の思考力・判断力・表現力を高める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストに教員自作の発展問題(全国学調のB問題レベル)を出題する。</li> <li>・自主学習ノートに取り組む内容として、各学年の実力テストを参考にし、思考力等を問う設問を集め、取り組ませる。</li> <li>・討論会やポスターセッション等多様な表現の機会を設ける。</li> </ul>	<p><b>2 情報発信と意見収集で開かれた学校をめざし、地域・保護者と協働を構築する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1回、マメールで学校の様子を伝える。</li> <li>・生徒の活躍の様子を伝える機会を通信やHP等多く設ける。</li> <li>・学級通信、学年通信などに、保護者の意見を求める欄を定期的に設ける。</li> </ul>
<p><b>3 特別活動(生徒会、部活動等)の充実を図り、共感的な絆づくりを強化する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部長会を定期的に設け、目標や活動内容を確認し合う。</li> <li>・がんばっている生徒を紹介し、認め合う場を設定する。</li> <li>・生徒会企画で、全校生の絆が深まるような活動を行う。</li> <li>・委員会活動を見直し、創造的な活動を多く取り入れる。</li> <li>・学級に、一人ひとりの誕生日を掲示し、誕生日の生徒を短学活で紹介する。</li> </ul>	<p><b>3 家庭学習の習慣化・選択化・個別化を工夫し、生徒の学習習慣を育てる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習ノートの活用法について指導する時間を設け、応用問題を学年フロアに常備し、主体的に学習に取り組めるようにする。</li> <li>・自分の能力に応じた課題テキストを選択させる。</li> </ul>	<p><b>3 生徒の生きる力の基礎づくりとして、心身の体力向上を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急処置の仕方を学習する機会を設ける。</li> <li>・主体的に練習に取り組ませるため、希望制による駅伝部をつくる。</li> <li>・水曜日の放課後の時間の使い方について工夫する。</li> </ul>
<p><b>4 生徒が抱く夢・希望に共感し、グローバルな未来をたくましく生きる志を育む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多方面で活躍する二中の卒業生による講演会を実施する。</li> <li>・学活・道徳などで、グローバルに生きる人を紹介する。</li> <li>・高校や専門学校等の先生方の話を聞く機会を設ける。</li> </ul>	<p><b>4 個別の支援・合理的配慮の行動実践を探究し、生徒一人ひとりの特長を伸ばす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームティーチングや少人数授業等を複数教科で実施し、個別支援の充実を図る。</li> <li>・時間割に特別支援対応の教師を割り振り、別室で学習する生徒等個別の支援が必要な生徒にも対応できるようにする。</li> </ul>	<p><b>4 教員の危機察知力・危機回避力を向上させ、生徒の心身の安全を確保する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に学校で起こった事故、あるいは他のケースについて、原因・対応について考えを出し合うような機会を作る。</li> <li>・道徳の教材として、様々な災害の資料に触れ、自分にできることを考えさせる。</li> <li>・災害や事故の設定、避難のさせ方等、異なる内容の避難訓練を年3回実施する。</li> </ul>

